

6. 目黒区地域交通検討に係るアンケート調査

6.1 アンケート調査の概要

(調査の概要)

- (1) 調査の対象：目黒区在住の満 18 歳以上の男女（平成 31 年 4 月 1 日現在）
- (2) 標 本 数：5,677 部（5,500 部+追加 177 部）
- (3) 調 査 方 法：郵送による調査票の発送及び無記名回収
- (4) 回 収 総 数：2,239 部
- (5) 有効回収率：39.4%
- (6) 調 査 期 間：令和 1 年 5 月 17 日～6 月 14 日

（追加調査（区内在住の外国籍の人を対象）
令和 1 年 5 月 31 日～6 月 28 日）

(背景および目的)

目黒区は、鉄道・路線バス等の公共交通の利便性が比較的高い状況にありますが、乗換えが面倒、また急な坂道があるなど、地域によって移動に関する状況は様々です。

そこで、それぞれの地域の皆さんに日常の移動に関してどのような移動に不便を感じているのか現状を把握し、目黒区における地域交通の支援策を検討するための基礎資料として活用することを目的にアンケート調査を行いました。

(単純集計結果の整理方法)

- (1) 図中の n (number of case の略) は、その設問の回答者数を表している。
- (2) 端数処理の方法により合計が 100%にならない場合がある。
- (3) 複数回答の場合は、回答者数 (n) に対する割合を示しているため、合計が 100%を超える場合がある。
- (4) 回答割合の算出方法について、問 1「回答者の属性」、問 6「取組み方」、問 7「利用意向」の択一回答の場合は「無回答」を含め、その他の択一回答の場合は「無回答」を除いた回答数における割合を算出している。また、複数回答や該当者のみの設問などの回答数が変わる場合は、「無回答」を除いた回答者数 (n) における割合を算出している。
- (5) 択一回答に対して、1人の回答者が複数の選択肢を回答している場合は、全ての回答を含めた上で、その回答数における割合を算出している。

(クロス集計結果の整理方法)

- (1) 端数処理の方法により合計が 100%にならない場合がある。
- (2) 複数回答の場合は、回答者数 (n) に対する割合を示しているため、合計が 100%を超える場合がある。
- (3) 回答割合の算出方法について、問 6「取組み方」、問 7「利用意向」の択一回答の場合は「無回答」を含め、その他の択一回答の場合は「無回答」を除いた回答数における割合を算出している。また、複数回答や該当者のみの設問などの回答数が変わる場合は、「無回答」を除いた回答者数における割合を算出している。
- (4) 択一回答に対して、1人の回答者が複数の選択肢を回答している場合は、全ての回答を含めた上で、その回答数における割合を算出している。
- (5) 各グラフにおける選択肢の上位 3 位は、グレーハッチで表示している。(0.0%の場合は除く) ただし、「5歳以下の児童や乳幼児等との同居有無」とのクロス集計では上位 1 位をグレーハッチで表示している。
- (6) クロス集計項目である「年代(問 1.2)」「居住地区(問 1.3)」「5歳以下の児童や乳幼児等との同居有無(問 1.5)」のそれぞれの設問における回答者数と回答数計を、次頁に示す。なお回答者数と回答数計は、クロス集計項目と各設問をクロスさせるため、単純集計の数値と異なる場合がある。

日常の移動や公共交通に関するアンケート調査票

ご回答は、該当する番号に をお付けください。

回答欄の「その他」などの下線部には、具体的な内容をご記入ください。

問1 「あなた自身のこと」についてお聞きします

問1.1 あなたの性別をお答えください。(1つ選択)

統計分析のため「男性・女性」の選択としていますので、自認する性別を選んでください。自認する性別がどちらでもない方は、住民登録上の性別をお答えください。

男性 女性

問1.2 あなたの年代をお答えください。(1つ選択)

10代 20代 30代 40代 50代
60～64歳 65～69歳 70～74歳 75～79歳 80～84歳
85歳以上

問1.3 あなたの現住所をお答えください。(1つ選択)

該当する住所の番号に をお付けください。(1つ選択)

駒場	青葉台	東山	大橋	上目黒	中目黒
三田	目黒	下目黒	中町	五本木	祐天寺
中央町	目黒本町	原町	洗足	南	碑文谷
鷹番	平町	大岡山	緑が丘	自由が丘	中根
柿の木坂	八雲	東が丘	目黒区以外		



何丁目かを記入してください (_____) 丁目

問1.4 あなたのご職業等をお答えください。(1つ選択)

高校生 大学生 その他学生(予備校含む)
勤め人(会社員・公務員等) 会社経営・役員 自営業主(農林業含む)
パート・アルバイト 無職(専業主婦・主夫) 無職(定年退職者等含む)
その他(_____)

問1.5 5歳以下の児童や乳幼児等との同居についてお答えください。(1つ選択)

いる いない

問2「あなたの移動手段」についてお聞きします

問2.1 運転免許の保有状況をお答えください。(1つ選択)

- 自動車の運転免許をもっている
自動車はないが、バイク・原付の運転免許をもっている
以前はもっていたが返納した又は失効して今はない
運転免許をとったことがない
その他(_____)

問2.2 公共交通(鉄道、バス、タクシー)以外で、利用できる交通手段をお答えください。(複数選択可)

自家用車(自分の運転)



< 自家用車(自分の運転)と回答された方のみ >

自家用車の運転はいつまで続けたいかお答えください。(1つ選択)

- 65歳より前 65~69歳 70~74歳 75~79歳 80~84歳
85歳以上 その他(_____)

運転を辞めた場合、利用すると思われる交通手段をお答えください。(複数選択可)

- 自家用車(家族・知人による送迎)
鉄道 バス タクシー 自転車 何もない(徒歩のみを含む)
その他(_____)

自家用車(家族・知人による送迎)



< 自家用車(家族・知人による送迎)と回答された方のみ >

送迎の依頼にあたって何か困っていることはありますか。(1つ選択)

- 特に困っていることはない 困っていることがある



< 困っていることがあると回答された方のみ >

どのようなことで困っているか、お答えください。(複数選択可)

- 曜日・時間等の制約がある 行ける範囲が限定される
家族・知人に頼みづらい その他(_____)

- バイク・原付
自転車
何もない(徒歩のみを含む)
その他(_____)

問3 「公共交通の利用状況」についてお聞きします

問3.1 あなたの自宅から最も利用する駅やバス停についてお答えください。
また、それぞれの駅やバス停に徒歩で向かう場合にかかる時間や利便性についてもお答えください。

		駅名・バス停名 (駅名は1つ選択) (バス停名は下線部に記入)	自宅から 徒歩で かかる時間	利便性 (複数選択可) (その他を選択した 場合は、理由も記入)
駅	最も 利用する 駅	駅名 駒場東大前 池尻大橋 駒沢大学 代官山 中目黒 祐天寺 学芸大学 都立大学 自由が丘 恵比寿 目黒 不動前 武蔵小山 西小山 洗足 大岡山 緑が丘 池ノ上 神泉 利用しない その他(_____)	約 _____ 分	無理なく歩ける 駅まで距離があり不便 坂道や段差があり不便 歩道が十分に確保され ていないため不便 身体的に歩行が困難 その他 (_____)
	バス停	最も 利用する バス停	バス停名 _____	約 _____ 分

問4 「あなたの日常移動」についてお聞きします

問4.1 あなたの日常移動について、通勤・通学や買い物、通院など「移動の目的」ごとに回答ください。「移動の目的」があてはまらない場合は、回答しないで結構です。それぞれの目的ごとに、移動先や移動手段、おおよその移動頻度、移動時間帯（普段外出される時間帯）をお答えください。

移動の目的	移動先 (1つ選択)	移動手段 (複数選択可)	移動頻度 (1つ選択)	移動時間帯 (行き・帰りで1つずつ選択)
通勤・通学	自宅周辺 区内 区外	自家用車 家族・知人による送迎 訪問施設のサービスによる送迎 鉄道 バス タクシー バイク・原付 自転車 徒歩のみ その他 ()	週5回以上 週3～4回 週1～2回 月2～3回程度 月1回以下	行きの時間帯
				9時前 9～12時 12～15時 15～18時 18時以降
買い物	自宅周辺 区内 区外	自家用車 家族・知人による送迎 訪問施設のサービスによる送迎 鉄道 バス タクシー バイク・原付 自転車 徒歩のみ その他 ()	週5回以上 週3～4回 週1～2回 月2～3回程度 月1回以下	帰りの時間帯
				9時前 9～12時 12～15時 15～18時 18時以降

4

移動の目的	移動先 (1つ選択)	移動手段 (複数選択可)	移動頻度 (1つ選択)	移動時間帯 (行き・帰りで1つずつ選択)
通院	自宅周辺 区内 区外	自家用車 家族・知人による送迎 訪問施設のサービスによる送迎 鉄道 バス タクシー バイク・原付 自転車 徒歩のみ その他 (_____)	週5回以上 週3～4回 週1～2回 月2～3回程度 月1回以下	行きの時間帯
				9時前 9～12時 12～15時 15～18時 18時以降
				帰りの時間帯
				9時前 9～12時 12～15時 15～18時 18時以降
その他	その他目的施設の名称：(_____)			
	自宅周辺 区内 区外	自家用車 家族・知人による送迎 訪問施設のサービスによる送迎 鉄道 バス タクシー バイク・原付 自転車 徒歩のみ その他 (_____)	週5回以上 週3～4回 週1～2回 月2～3回程度 月1回以下	行きの時間帯
				9時前 9～12時 12～15時 15～18時 18時以降
				帰りの時間帯
				9時前 9～12時 12～15時 15～18時 18時以降

問5 「日常の移動で不便に感じていること」についてお聞きします

問5.1 外出に際してどのような不便があるか、お答えください。 (複数選択可)

とくに不便はない

自宅から駅やバス停まで遠く感じる

自宅から駅やバス停まで坂道や段差がある

自宅から駅やバス停までの道路の幅員が狭く歩きにくい

自宅から駅やバス停までの道路上に電柱等があるため歩きにくい

自宅から駅やバス停までの道路で車(自転車含む)の交通量が多い、またスピードを出すため、危ない

バスの運行本数が少ない

バスは移動に時間がかかる

バスが時間通りに来ない

バスの乗降りの段差が大変

タクシー料金が高い

タクシーを呼ぶと迎車料金がかかる

使いやすい鉄道やバス路線の移動手段がない



< 使いやすい鉄道やバス路線の移動手段がないを回答された方のみ >

使いやすい鉄道やバス路線の移動手段がない代わりに使う移動手段をお答えください。

(複数選択可)

自家用車(自分の運転)

自家用車(家族・知人による送迎)

タクシー バイク・原付

自転車 何もない(徒歩のみを含む)

その他(_____)

その他(_____)

問6 「小型車両などの新たな交通システム導入に関する取組み方」についてお聞きします

問6.1 今後、あなたの地域で新たな交通システムを導入していくためには、区民の皆さんが不便と感じる問題について、一緒に検討する必要があると考えています。そこで、新たな交通システム導入に関する検討への参加について、あなたの考えにあてはまるものをお答えください。(1つ選択)

- | | |
|----------------|----------------|
| 検討に参加したい | 検討の内容によって参加したい |
| 行政主体で検討するべきである | わからない |
| その他(_____) | |

問6.2 新たな交通システム導入にあたっては、車両の用意やバス停の設置などの費用がかかります。新たな交通システム導入に対する行政の財源の使い方について、あなたの考えにあてはまるものをお答えください。(1つ選択)

バス停・駅への移動に不便を感じる人や高齢者等への配慮のため、他の事業から予算を振り替えてでも、運行経費等の財源の大部分を行政が出し、新たな交通システムを導入すべきである
バス停・駅への移動に不便を感じる人や高齢者等への配慮の点から新たな交通システムの導入は望ましいが、行政が支援する対象を絞るべきで、財源を出す場合は一定の限度を設ける方がよい



< 財源を出す場合は一定の限度を設けるほうがよいを回答された方のみ >

どのような限度が適切と思うか、お答えください。(複数選択可)

- 車両にかかわる費用(リース代や保険代含む)
- 停留所等の設置にかかわる費用
- 利用促進PRにかかわる費用
- 高齢者等の利用者への利用費に対する補助
- その他(_____)

バス停・駅への移動に不便を感じる人や高齢者等への配慮のために新たな交通システム導入の事業を行う場合であっても、新たに行政の財源を出すべきではない
わからない
その他(_____)

問6.3 将来、小型車両などの新たな交通システム導入に伴い、住宅街で運行されることになった場合、運行への協力(自宅周辺での停留所の設置などへの理解)ができるかどうか、お答えください。(1つ選択)

- | | |
|--------------|----------------|
| 協力することができる | 内容によっては協力を検討する |
| あまり協力したくない | わからない |
| その他(_____) | |

「新たな交通システム」とは、道路幅が狭いなどの事情により既存のバスが走行できない地域で、小型車両などの運行による新たな移動手段の交通のことを言います。

問7「目黒区の今後の新たな交通システム導入に対する利用意向」についてお聞きします

問7.1 今後、あなたの地域での新たな交通システムの導入に伴い、小型車両などが運行された場合の利用可能性について、あなたの考えにあてはまるものをお答えください。(1つ選択)

利用する

利用しない

わからない



< 利用するを回答された方のみ >

利用料金がいくら位であれば利用するか、お答えください。(1つ選択)

路線バスより料金が高くても利用する 路線バスと同程度の料金であれば利用する

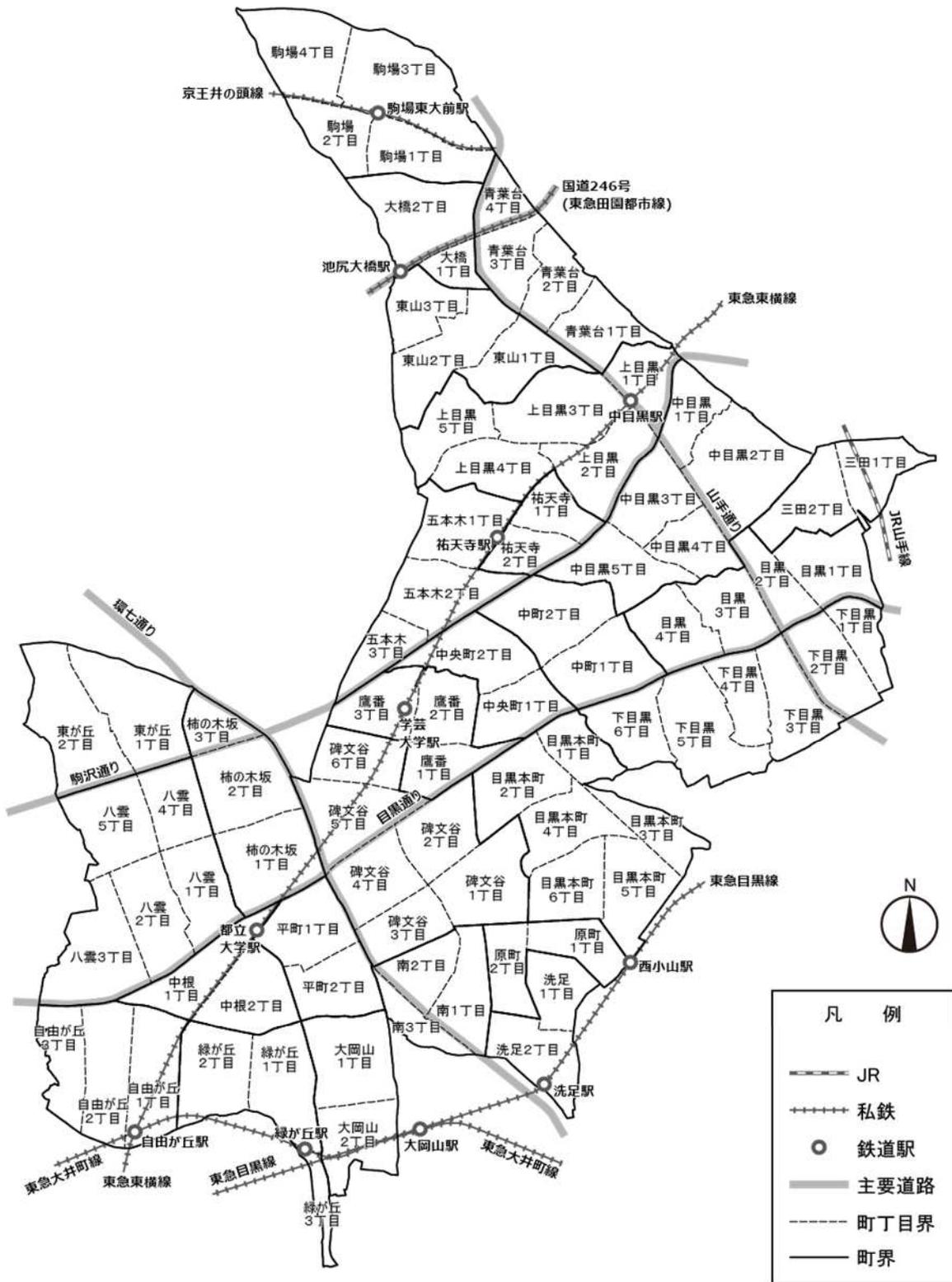
路線バスより安い料金であれば利用する

その他(_____)

地域交通に関するご意見、ご要望などを、ご自由にご記入ください

アンケートは以上になります。ご協力ありがとうございました。

目黒区の交通と88町丁目



・目黒区内の地域別発送数および回収数、回収率は以下に示す通り

表 6.1 地域別の発送および回収状況

地域名	発送数			回収数	回収率	構成比率	
	町目数	日本国籍	外国籍				合計
駒場	4	125	12	137	54	39.4%	2.4%
青葉台	4	186	1	187	61	32.6%	2.7%
東山	3	235	2	237	100	42.2%	4.5%
大橋	2	128	3	131	43	32.8%	1.9%
上目黒	5	380	15	395	137	34.7%	6.1%
中目黒	5	300	9	309	121	39.2%	5.4%
三田	2	125	4	129	43	33.3%	1.9%
目黒	4	234	14	248	109	44.0%	4.9%
下目黒	6	399	20	419	156	37.2%	7.0%
中町	2	181	7	188	87	46.3%	3.9%
五本木	3	199	5	204	75	36.8%	3.3%
祐天寺	2	89	2	91	29	31.9%	1.3%
中央町	2	173	3	176	53	30.1%	2.4%
鷹番	3	194	5	199	67	33.7%	3.0%
目黒本町	6	489	17	506	196	38.7%	8.8%
原町	2	98	1	99	41	41.4%	1.8%
洗足	2	140	3	143	68	47.6%	3.0%
南	3	148	3	151	71	47.0%	3.2%
碑文谷	6	341	11	352	147	41.8%	6.6%
平町	2	120	2	122	46	37.7%	2.1%
大岡山	2	127	3	130	52	40.0%	2.3%
緑が丘	3	142	9	151	61	40.4%	2.7%
自由が丘	3	167	4	171	73	42.7%	3.3%
中根	2	152	6	158	63	39.9%	2.8%
柿の木坂	3	198	6	204	88	43.1%	3.9%
八雲	5	295	6	301	136	45.2%	6.1%
東が丘	2	135	4	139	55	39.6%	2.5%
目黒区以外	-	-	-	-	1	-	0.1%
無回答	-	-	-	-	6	-	0.3%
合計	88	5,500	177	5,677	2,239	39.4%	100.0%

6.2 単純集計結果

回答者の年代

「40代」が21.1%、「50代」が18.3%、「70代」が14.9%の順で多く、65歳以上の割合は33.1%となっている。

○自宅から鉄道駅までに徒歩でかかる時間

「6～10分」が44.0%と最も多く、10分以内の割合は65.4%となっており、15分以内の割合は89.5%となっている。

○自宅からバス停までに徒歩でかかる時間

「5分以内」が80.0%と最も多く、10分以内の割合は、97.2%となっている。

日常の移動で不便に感じていること

「特に不便はない」が57.0%となっており、何かしらの不便を感じている人の割合は43.0%となる。そのうち、「駅やバス停まで遠く不便」が13.6%、「駅やバス停まで坂道や段差があり不便」が11.6%となっている。

行政の財源の使い方

「一定の限度を設けて財源を使うべき」が40.5%、「大部分を行政が出すべき」が25.1%「行政が財源を出すべきではない」が4.7%となっている。

財源に対する一定の限度

「高齢者等の利用者への利用費に対する補助」が57.9%、「車両にかかわる費用（リース代や保険代含む）」が41.7%となっている。

n=907

選択肢	回答数	割合
計	1,494	-
車両にかかわる費用(リース代や保険代含む)	378	41.7%
停留所等の設置にかかわる費用	305	33.6%
利用促進PRにかかわる費用	218	24.0%
高齢者等の利用者への利用費に対する補助	525	57.9%
その他	68	7.5%

図 6.1 財源に対する一定の限度への意見

新たな交通システムの導入に伴う利用意向

「利用する」が55.3%、「利用しない」が13.7%、「わからない」が26.9%となっている。

6.3 クロス集計結果

年齢別の運転免許保有状況

74歳以下の世代では、半数以上の割合で免許証を保有しているが、75歳以上から免許証を持たない人が多く、割合が逆転している。

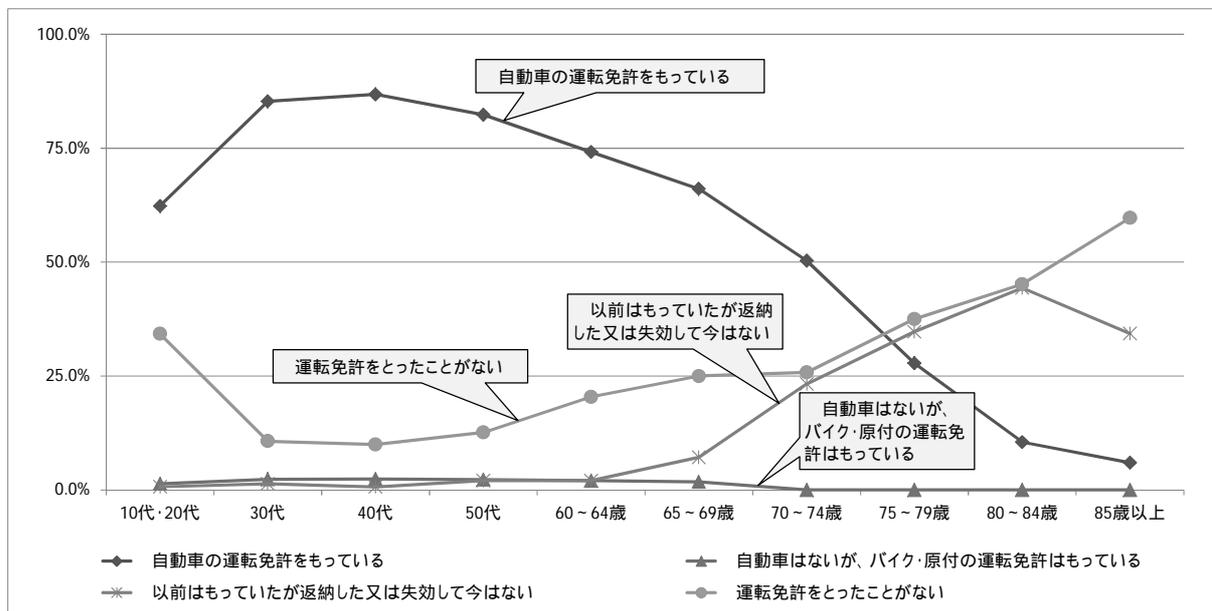


図 6.2 年齢別の運転免許保有状況

年齢別の最寄り鉄道駅までの利便性

全体の73.0%が無理なく歩けると回答している一方、80歳以上の世代では駅までの距離や坂道等により不便や身体的に歩行が困難と回答している割合が高い。

年齢別の最寄りバス停までの利便性

全体の90.7%が無理なく歩けると回答している一方、85歳以上の世代では駅までの距離や坂道等により不便や身体的に歩行が困難など、全ての項目で割合が高い。

年齢別の財源の使い方に対する考え方

行政の財源支出に反対する意見は5.0%以下で、新たな交通システム導入に伴う財源の大部分もしくは一定限度の支出に賛成の意見は65.6%となっており、64歳以下の世代で賛成する割合が高く、全体の約5割となっている。

	他の事業から予算を振り替えてでも、運行経費等の財源の大部分を行政が出し、新たな交通システムを導入すべきである		新たな交通システムの導入は望ましいが、行政が支援する対象を絞るべきで、財源を出す場合は一定の限度を設ける方がよい		新たに行政の財源を出すべきではない		わからない	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
10代・20代	45	30.4%	65	43.9%	8	5.4%	21	14.2%
30代	87	28.4%	147	48.0%	17	5.6%	37	12.1%
40代	129	26.8%	225	46.7%	25	5.2%	70	14.5%
50代	119	28.7%	183	44.1%	28	6.7%	41	9.9%
60～64歳	48	29.8%	73	45.3%	6	3.7%	19	11.8%
65～69歳	49	26.8%	70	38.3%	7	3.8%	31	16.9%
70～74歳	40	22.2%	53	29.4%	4	2.2%	36	20.0%
75～79歳	28	15.7%	57	32.0%	5	2.8%	43	24.2%
80～84歳	25	16.6%	36	23.8%	4	2.6%	32	21.2%
85歳以上	9	9.1%	22	22.2%	5	5.1%	21	21.2%
計(年齢不明含む)	579	25.1%	934	40.5%	109	4.7%	352	15.2%

図 6.3 年齢別の財源の使い方に対する考え方

地域別の最寄り鉄道駅までの利便性

全体の13.6%の人が駅までの距離に不便を感じており、地域別では東が丘、中町、碑文谷の順に割合が高いが、三田など駅から離れた地域では距離による不便を感じる割合が低いことから、距離による不便の感じ方には差があることがわかる。

また、全体の11.6%の人が駅までの坂道等で不便を感じており、地域別では下目黒や目黒で割合が高く、目黒駅周辺の坂道等に対する不便と考えられる。

地域別の最寄りバス停までの利便性

バス停までの距離に不便を感じている地域では、大岡山が突出して割合が高く、駅やバス停から300m圏域に入らないエリアが南北に広がっている。

また、バス停までの坂道等による不便を感じている地域では、東山の回答割合が高く、バス停からの標高差がある場所と重なる範囲が多いことがわかる。

地域別の日常の移動で不便に感じること

日常の移動状況で「特に不便はない」との回答が全体の 57.0%となっており、半数以上の人の特に問題を感じていない一方、下目黒で 41.6%、東が丘で 41.8%と不便を感じていない人の割合が低くなっている。

	とくに不便はない	
	回答数	割合
駒場	30	57.7%
青葉台	35	59.3%
東山	61	62.9%
大橋	24	58.5%
上目黒	76	59.8%
中目黒	67	58.3%
三田	29	69.0%
目黒	47	46.1%
下目黒	64	41.6%
中町	44	54.3%
五本木	40	57.1%
祐天寺	19	70.4%
中央町	35	70.0%
鷹番	37	59.7%
目黒本町	117	60.9%
原町	26	65.0%
洗足	41	64.1%
南	38	56.7%
碑文谷	82	61.2%
平町	28	68.3%
大岡山	30	62.5%
緑が丘	33	56.9%
自由が丘	31	43.1%
中根	35	58.3%
柿の木坂	49	57.0%
八雲	70	53.4%
東が丘	23	41.8%
計(住所不明含む)	1,216	57.0%

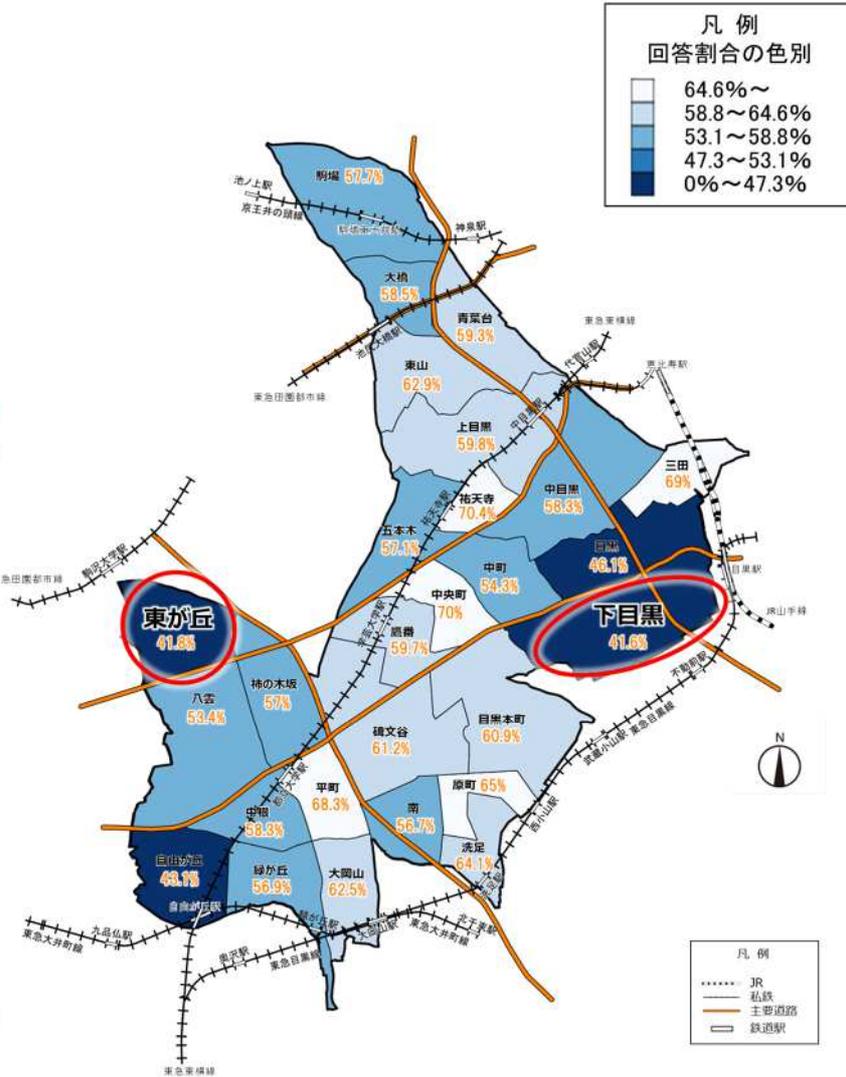


図 6.4 外出に際して「特に不便はない」の地域別の回答割合

地域別の駅・バス停を一体と考えた不便を感じている地域

駅やバス停までの距離に不便を感じている地域は、東が丘、南、碑文谷の順に割合が高く、駅やバス停までの坂道等に不便を感じている地域は、下目黒が突出して割合が高くなっている。

	自宅から駅やバス停まで坂道や段差がある	
	回答数	割合
駒場	9	17.3%
青葉台	6	10.2%
東山	20	20.6%
大橋	7	17.1%
上目黒	14	11.0%
中目黒	12	10.4%
三田	4	9.5%
目黒	23	22.5%
下目黒	58	37.7%
中町	4	4.9%
五本木	0	0.0%
祐天寺	2	7.4%
中央町	0	0.0%
鷹番	0	0.0%
目黒本町	4	2.1%
原町	0	0.0%
洗足	3	4.7%
南	5	7.5%
碑文谷	9	6.7%
平町	2	4.9%
大岡山	7	14.6%
緑が丘	7	12.1%
自由が丘	12	16.7%
中根	6	10.0%
柿の木坂	10	11.6%
八雲	18	13.7%
東が丘	6	10.9%
計(住所不明含む)	248	11.6%

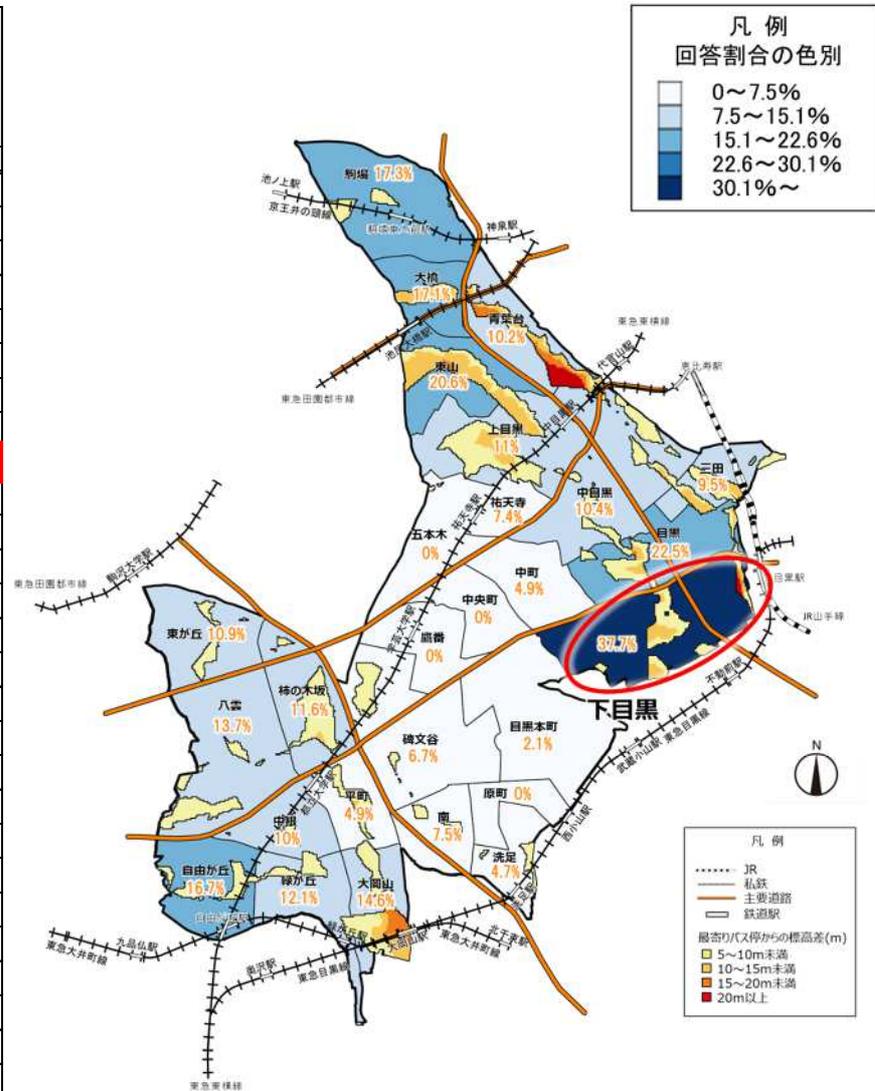


図 6.5 最寄りバス停からの高低差と「駅やバス停まで坂道や段差がある」との関係

6.4 分析結果のまとめ

(1) 年齢別クロス集計による移動支援に関するニーズがある年代

アンケート結果（年齢別集計）から、運転免許の保有状況（問 2.1）や最寄り駅及びバス停までの利便性（問 3.1）で身体的に歩行が困難な割合をみると、75 歳以上の高齢者が多く、移動支援に関するニーズがある年代と考えられる。また、外出における不便な状況（問 5.1）では、特に不便はないとする回答が低くなっているのは、30 代以下の子育て世代や、85 歳以上の高齢者で、移動支援に関するニーズがある年代と考えられる。

(2) 地域別クロス集計による移動支援に関するニーズがある地域

アンケート結果（地域別集計）から、鉄道駅やバス停からの距離が遠くて不便という意見は、必ずしも実際の距離の差と合致しておらず、不便の感じ方に地域差があることがわかる。

移動に関する不便な状況（問 3.1（鉄道駅）、問 3.1（バス停）、問 5.1）の上位 3 位の地域をみると、下目黒、東が丘、東山、自由が丘となっている。下目黒では、「最寄り鉄道駅まで坂道や段差があり不便」や「外出時における不便は特にないとする回答が低い」が上位 1 位、「最寄りバス停までが遠くて不便」が上位 3 位となっており、鉄道駅やバスを利用した外出において、移動支援に関するニーズがある地域と考えられる。

移動の不便な状況に関するアンケート結果（地域別集計） 上位 3 位の地域

	問3.1 最寄り鉄道駅までの利便性		問3.1 最寄りバス停までの利便性		問5.1 外出時における 不便な状況
	遠くて不便	坂道や段差 があり不便	遠くて不便	坂道や段差 があり不便	とくに不便はない 回答割合の低い 地域
上位 1 位	東が丘	下目黒	大岡山	東山	下目黒
上位 2 位	中町	目黒	自由が丘	大橋	東が丘
上位 3 位	碑文谷	東山	下目黒	祐天寺	自由が丘

